

2025年4月より

だいたいこつ きん い ぶ こっ せつ

大腿骨近位部骨折センターを開設いたしました

現在、日本は超高齢化社会にあるといわれています。そのような状況において整形外科分野では高齢者の骨折、とくに**大腿骨近位部骨折**(大腿骨頸部骨折や転子部骨折など※2)の増加が著しく※1、当院でも整形外科手術の約3割を占めます。

大腿骨近位部骨折は高齢者に生じる場合、転倒やベッドからの転落など、軽微な外傷が原因となることが多くあります。

寝たきりになることを防ぎ、早期の離床をはかるために、治療は手術が第1選択になることが多いですが、ご高齢の方は持病や骨粗鬆症こつそしょうじょうのある方が多く、早期に手術でしっかり固定することが困難な場合もあります。

超高齢化社会の中で、骨折の増加という環境の変化に対応するため、当院では**大腿骨近位部骨折センター**を開設することとなりました。

これまで同様、手術前に患者さまの状態を評価し、手術適応のある患者さまには早期に手術を受けていただき、そしてリハビリを経てご自宅や施設へのお戻りになるためのサポートをいたします。

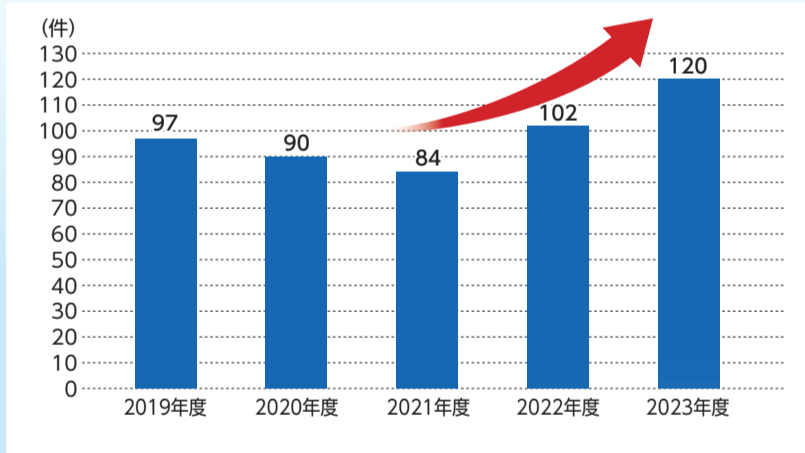
また骨折の治療だけでなく、未治療の骨粗鬆症の患者さまには積極的に骨粗鬆症の治療もおこない、骨折の連鎖を予防しながら多職種によるチーム医療(医師、看護師、理学療法士、薬剤師、管理栄養士、MSW(医療ソーシャルワーカー)など)を推進し、地域医療に貢献してまいります。

当センターについて、ご不明な点などがございましたら整形外科外来・患者支援センターまでお問い合わせください。

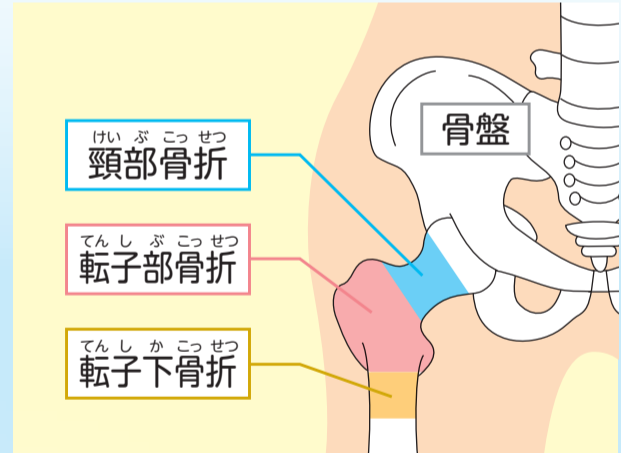
大腿骨近位部骨折は早期受診・早期手術が必要です。転倒などでお困りの際は、お電話でご相談ください。
病院代表電話 0568-21-0811(24時間対応)

大腿骨近位部骨折センター 整形外科部長 松尾 英生

※1 当院の大腿骨近位部骨折手術数の年次変化



※2 大腿骨近位部骨折の部位



マンスリー済衆館だより 希望をご愛読いただき感謝申し上げます。

今後、希望はさらに内容を充実させ、2025年7月より**季刊誌**として生まれ変わります、皆さまご期待ください。

今後とも済衆館病院広報誌をどうぞよろしくお願い申し上げます。

広報委員会一同

→ 次号は季刊誌として2025年7月に発行いたします。

四字熟語

春風駘蕩(しゅんぷうたいとう)
春風がそよそよと快く吹くさま

- 4月2日(水)世界自閉症啓発デー ●4月2日(水)～4月8日(火)発達障害啓発週間
- 4月7日(月)世界保健デー ●4月18日(金)よい歯の日/発明の日
- 4月23日(水)子ども読書の日 ●4月24日(木)～4月30日(水)世界予防接種週間
- 4月29日(火)昭和の日

